

《専門教育科目 専門応用科目》

科目名	教職実践演習				
担当者氏名	笠川 武史、中村 哲也、白川 晴美、藤田 敏朗				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	4年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 専門応用-3 コミュニケーション能力の向上 ◎ 専門応用-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

これまでの学びで得た技能や知識を統合して以下に実践的な指導ができるようになるかを確認し、教職に対する志望動機を降り確かな意志へと導くとともに、教員として幅の広い視野と学習の深まりを通して、自らの教育力を高めることを目標とする。

《テキスト》

なし

《参考図書》

参考書：適宜支持する。
資料：履修カルテ

《授業の到達目標》

これまでの学びで得た技能や知識を統合していかに実践的な指導ができるようになるかを確認し、教職に対する志望動機をより確かな意志へと導くとともに、教員としての幅広い視野と学修の深まりを通して、自らの教育力を高めることを目標とする

《授業時間外学習》

ボランティアや教育実習の経験を活かし、自らの意欲と技能を高める。

《成績評価の方法》

授業態度30%、発表・レポート・見学・実習等40%、指導者の所見30%により評価する。

《備考（教員経験の有無）》

この教科は小学校、中学校教員の経験に基づき構成しています。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	教職実践演習の意義と課題の明確化
2	模擬授業の計画と準備	グループ分けを行い、グループごとに模擬授業（保育）の計画準備を行う。
3	救急救命法の基本的な理解	救急救命についての基本的な内容について理解する。
4	救急救命法の実践演習	心肺蘇生など、救急救命に関する基本的な措置を行えるように練習をする。
5	保護者との討論会	子育て経験のある方をお招きして話を聞くことで、保護者視点で学校に対する期待や要望がどのようなものかを理解する。
6	グループ討議	保護者の話を伺ったうえで、どのような点が大切であったかを、グループで討論する。
7	模擬授業(保育)①	教育実習の経験などを生かし、より実践的な模擬授業（保育）をすることを旨とする。
8	模擬授業(保育)②	教育実習の経験などを生かし、より実践的な模擬授業（保育）をすることを旨とする。
9	模擬授業(保育)③	教育実習の経験などを生かし、より実践的な模擬授業（保育）をすることを旨とする。
10	模擬授業(保育)④	教育実習の経験などを生かし、より実践的な模擬授業（保育）をすることを旨とする。
11	現場経験のある教員の実践的講話	現場経験のある教師や保育者からの話を聞き、実際に現場で求められていることが何かを理解する。
12	講話を受けてのグループ討論会	話を聞いたうえで自分はどのような教育者、保育者を旨とし、どのような実践をしようとするのか、具体的にイメージする。
13	学校での問題場面对処についての考え方	学校で起こるより具体的な問題場面を共有し、どのように対処すればよいのかを考える。
14	問題場面对処のロールプレイ	対処の仕方を考えたうえで、実際にロールプレイなどを行いながら、その対処方法についてさらに深く考える。
15	学習のまとめ	学修の振り返りと学びのシェアリング